参加差押財産引受調書

滞納者	住所 (所在地)				
	氏名 (名称)				
引渡しを受けた 参加差押財産	名称	数量	性質	所 在	参加差押 年月日
上記の参加差押財産の引渡しを受けます。 (根拠法令一国税徴収法施行令第40条第1項) 年 月 日 美唄市 職氏名					
参加差押財産引受調書謄本を受領しました。 ( ) 立会人			参加差押財産引受調書謄本(保管者あて)を受領しました。 ( ) 氏名		
参加差押財産引受調書謄本記載の差押財産の保管を命じます。 様 年 月 日 美唄市 職氏名			上記差押財産について、その価値を減少させない範囲での通常の用法に従った使用収益を認めてください。 年 月 日 住所(所在地) 保管者 氏名(名称)		
命令の 理由					

- 注意 1 この処分について不服がある場合には、この調書を受け取った日の翌日から起算して3月以内に市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 この処分について不服がある場合には、前項の審査請求に対する裁決の送達を受けた日の翌日から起算して6月以内に、美唄市(訴訟において美唄市を代表する者は、美唄市長となります。)を被告として、処分の取消しの訴えを提起することができます。
ただし、この裁決の送達を受けた日の翌日から起算して6月以内であっても、審査請求に対する裁決のあった日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。
- 3 この処分については、第1項の審査請求に対する裁決を経た後でなければ、処分の取消しの訴えを提起することができませんが、次の各号のいずれかに該当するときは、審査請求に対する裁決を経ないで処分の取消しの訴えを提起することができます。
- (1) 審査請求があった日から3月を経過しても裁決がないとき。
  - (2) 処分、処分の執行又は手続の続行により生じる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。
  - (3) その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
- 摘要 1 この調書は、引受文以下を除き「参加差押財産引受通知書」と併せて複写により作成すること。
- 2 「参加差押財産引受調書謄本を受領しました。」又は「参加差押財産引受調書謄本(保管者あて)を受領しました。」の文言のある欄の括弧内には、財産の保管者と立会人等との続柄又は関係を記入すること。
- 3 差押財産を第三者の同意を得てその者に保管させる場合には、下部余白に「上記財産は、引揚げの通知があるまで無償で保管します。」と記載して保管者の署名を求めること。